

# 家畜市場 価格の推移

(3月)

## ▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位：円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	11	11	100.0%	107,100	2,100	46,295
	雄	198	192	97.0%	70,350	1,050	46,264
計	209	203	97.1%	107,100	1,050	46,266	62
F1	雌	205	188	91.7%	162,750	23,100	125,298
	雄	217	209	96.3%	221,550	29,400	171,687
計	422	397	94.1%	221,550	23,400	149,152	59
ホルス(5才) 雌	71	70	98.6%	326,550	73,500	168,000	710

## ▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位：円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
南北海道	7日	171	134	78.4%	735,000	322,350	515,299
豊富	14日	310	230	74.2%	778,050	319,200	552,031
根室	17日	530	411	77.5%	779,100	397,950	572,457
釧路	18日	296	167	56.4%	707,700	364,350	531,401
北見	19日	422	325	77.0%	733,950	250,950	547,651
十勝	20日	600	445	74.2%	739,200	235,200	566,828
合計		2,329	1,712	73.5%	779,100	235,200	547,611

### 業務報告 (3月分)

- 3日 飼料イネ栽培講習会
- 3日 庄原市酪農連絡協議会役員会
- 4日 ミルクジャパン企画担当者会
- 4日 JA経営基盤強化総合対策本部委員会
- 5日 広酪メンバースクランブ役員会
- 5日 日本酪農政治連盟総会
- 6日 食品の適正表示推進者フォーアアップ講習会
- 6日 甲奴郡酪女性部役員会
- 7日 二十六年酪農関係対策推進ブロック会議
- 7日 森永酪農セミナー
- 10日 HJC協同組合学校
- 11日 みわTMRセンター統合整備事業完了検査
- 11日 乳業協会下期ブロック会議
- 11日 中販連会員組織間連絡調整会議
- 12日 あきたかた酪農振興会役員会
- 12日 庄原地域酪農振興会役員会
- 13日 千代田酪農連絡協議会役員会
- 13日 第五回生産委員会
- 13日 中販連常例検査立会
- 14日 中販連理事會
- 14日 北広島町酪農団体連絡協議会役員会
- 15日 第五回総務委員会
- 15日 全酪連ブロック別組合長会議
- 15日 ヘルパー調整会議
- 17日 三次市酪農振興会役員会
- 18日 生乳格付検査補助員研修
- 18日 ひろらく女性グループ連絡協議会交流会
- 18日 山陽乳業(株)経営検討会
- 18日 第十三回理事會
- 19日 広島市酪農振興協議会総会
- 19日 山陽乳業(株)取締役会
- 20日 ひろらくB&Wシヨウ
- 20日 第十三回理事會
- 20日 あきたかた酪農振興会植樹祭
- 20日 生乳買取価格説明会
- 23日 JA経営対策担当部課長会議
- 23日 広酪メンバースクランブ総会
- 23日 広島県畜産協合理事會
- 24日 福山地方酪農協議会大仙祭
- 24日 中販連臨時総会
- 24日 神石酪農女性部総会
- 26日 西部ミルク会役員会
- 26日 西部酪農センターミーティング
- 27日 みわTMRセンター竣工式
- 27日 実地棚卸監査
- 31日 28日

### 編集後記

▼中国生乳販連は、平成二十五年年度の会員別の生乳受託実績を二十八万七千五百七十三トンと発表した。

▼この数量は前年対比九十七・六％で、同連が目指すHOSITYプランに掲げる年間生乳受託量の三十万トンに対しては四・一％、受託量で一万二千四百二十七トンが不足する状況にある。

▼生乳生産基盤を支えるのは、生乳出荷数と乳用牛の飼養頭数であるが、中国生乳販連傘下会員の平成二十六年三月度の生乳出荷戸数は七百七十九戸で前年同期から五十四戸の減少となっている。

▼全国的に生乳生産基盤の脆弱化の進行は例外では無く、基盤復元を如何にするかをテーマとするが、特效薬はどこにあるのか。

▼HOSITYプランに対する不足量を補うには、単純に見て、日量で三十四トン、経産牛頭数で千四百頭の増産・増頭が必要になる。

▼現存七百七十九戸の生乳出荷戸数において、一戸当たりでは経産牛頭数一・八頭の増頭が必要となる。広酪に置き換えると二百六十八頭の増頭が必要になる。

▼広酪が生乳出荷組合員を対象に行った平成二十六年度生乳生産基盤調査による申告数量は五万四千六百八・七トンとなった。申告数量の達成が現実のものとなることに期待したい。

▼突然だが、謀乳業者の商品に「八〇二〇ヨーグルト」があるのをご存じだろうか。

▼八〇二〇は「八十歳になってほしい」との商品歯を二十本以上保ってほしい」との商品コンセプトがある。

▼広島大学の二川浩樹教授が「健康な子供の口の中から、新しい乳酸菌」としてL八〇二〇菌を発見され「八〇二〇ヨー

## 市町別生乳受託量の進捗状況(3月)

(単位：トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	25年度累計	前年比(累計)
庄原市	1,024.3	22.1%	104.2%	11,440.8	102.9%
三次市	872.2	18.8%	96.6%	10,142.8	98.6%
世羅町	577.4	12.4%	107.4%	6,431.5	105.1%
北広島町	454.2	9.8%	90.0%	5,471.0	91.2%
安芸高田市	410.4	8.8%	97.7%	4,611.7	96.0%
東広島市	391.6	8.4%	104.2%	4,332.8	96.4%
府中市	255.7	5.5%	95.0%	2,879.0	91.4%
広島市	191.1	4.1%	90.3%	2,246.8	95.7%
福山市	143.9	3.1%	100.4%	1,559.7	98.2%
神石高原町	100.5	2.2%	97.8%	1,128.4	100.2%
三原市	99.8	2.1%	86.2%	1,256.0	93.6%
廿日市市	63.1	1.4%	90.7%	737.1	91.7%
呉市	57.6	1.2%	107.4%	630.0	97.2%
合計	4,641.8	100.0%	99.0%	52,867.6	98.2%

3月分乳価は？

■ 3月分乳価 プール乳価は 105.126 円  
前月分は 107.826 円 前月対比 97.4%

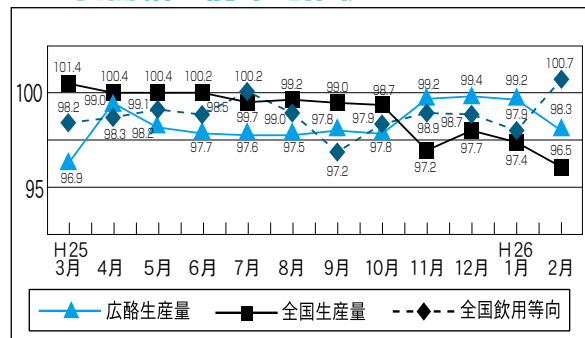
## 生乳受託実績(3月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	44	12	47	46	149
生乳出荷量(トン)	1,680.4	449.2	1,118.8	1,393.3	4,641.8
前年同月対比(%)	101.5%	104.6%	92.8%	99.7%	99.0%
前月対比(%)	114.0%	114.6%	113.6%	114.5%	114.1%
生乳出荷累計(トン)	19,012.6	4,962.8	13,066.5	15,825.7	52,867.6
広酪構成比(%)	36.0%	9.4%	24.7%	29.9%	100.0%

## 市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(2月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	45,169	891.0	28.5%	50.7
2	三次市	34,289	773.0	21.7%	44.4
3	安芸高田市	17,497	358.0	11.1%	48.9
4	北広島町	14,426	401.0	9.1%	36.0
5	府中市	13,794	214.0	8.7%	64.5
6	世羅町	7,411	509.0	4.7%	14.6
7	東広島市	6,144	338.0	3.9%	18.2
8	福山市	5,876	125.0	3.7%	47.0
9	三原市	4,994	91.0	3.2%	54.9
10	廿日市市	3,786	57.0	2.4%	66.4
11	神石高原町	3,121	84.0	2.0%	37.2
12	広島市	1,508	167.0	1.0%	9.0
13	呉市	325	53.0	0.2%	6.1
合計		158,339	4,067.0	100.0%	35.6

## 生乳需給の前年比推移(2月) (単位:%)



■ 誤正 福原美江さん(中)と努さん(左)  
福原美江さん(中)と務さん(左)

本誌(二〇一四年三月号、No二四〇)五頁掲載の福原務さんのお名前が間違っておりました。深くお詫びし訂正させて頂きます。

○お詫びと訂正

ご相談に応じます  
事業推進課係長 大島達夫の「ご相談に応じます」の連載記事は、今月号からお休みさせて頂きます。

▼「馬鹿なことを云うな。六十歳を過ぎれば年々体力は低下し、乳用牛の飼養管理も楽ではない。キャッチフレーズは「ばかばかしい」との声も聞こえそうです。」  
この問題を解消するには、TMR飼料の利用、酪農ヘルパーの活用を組み入れていけば如何でしょうか。(A・N)

▼「話題はもとに戻り、生乳生産基盤の向上には、搾乳牛個体毎の乳量を一挙に上昇させるか、生産者戸数と経産牛頭数の増加が必要となるでしょう。」  
酪農家にとっての強みは、定年退職は無く、心身ともに健康で体力が備わっているならば、六十歳、七十歳を超えてでも仕事が続けられることにあるのではないのでしょうか。

▼前述の「ハ〇ニ〇ヨーグルト」ではありませんが、「元気で長生きハ〇ニ〇広島酪農」のキャッチフレーズとしてはどうでしょうか。

▼キャッチフレーズの意味は、八十歳で二十頭の経産牛を飼養し、差引手取り乳代は二十万円を目標にしては如何でしょうか。